

サーチファーム  
ジャパン社長

たけもと  
武元

やすあき  
康明氏



プロフィール

航空業界を経て、約16年のヘッドハンター経験を生かし、07年サーチファーム・ジャパン社長。石川県出身、45歳。

「以前もヘッドハンティングについての著作がありますが、今回との違いは、

「『ヘッドハンターはあなたのどこを見ているのか』は、2006年に出した『ザ・ヘッドハンティング』（日本法令刊）

## 著者登場

に続く2冊目の著作となる。08年秋のリーマン・ショックを経て、企業経営者の意識や、人材採用についての価値観が変わってきた。終身雇用型の雇用を維持している会社では、人材育成が経営環境の変化に追いつかないというようなことも起こってきた。こうした中で本書を出した」

「ヘッドハンティング業界のビジネスも変化しているということですか。」

「当社は03年10月に大手総合商社系人材紹介会社から分離・

## 『ヘッドハンターはあなたのどこを見ているのか』

(メディアファクトリー刊、03・3238・8521)

### 業界のイメージアップに

我々のビジネス自体も大きな変化を求められた。当社は製造業の原価計算方式を用いており、候補者を発掘する工数（プロセス）が、従来の1・5〜2倍になっていたことが分かった。ビジネスを見直すとともに、料金体系を変更した。その結果、ミスマッチ率も改善した」

「国内のヘッドハンティング市場の状況は、

「市場規模は、約180億円と推計される。スカウトやヘッドハンティングを掲げる会社のうち、専業は10社にも満たないと見られる。我々のサーチという手法を用いて人材を獲得しようという企業のニーズは、今後増えていくのではないかと見ている」

「本ではスカウトについてかなり具体的な内容が書かれています。公開することに抵抗はありませんでしたか。」

「オープンにする方が、以前接点のあった候補者からの口コミが期待できるとともに、本を通じて我々のビジネスに対する理解も深まる。ノウハウを明らかにすることによって、業界の発展にもつながると考えている。業界のイメージアップにもつながるのではないかという思いもある」

(宮里秀司)

独立。エグゼクティブ層の職業紹介や人材サーチ、スカウトなどを手がけている。欧米では『エグゼクティブサーチ』という呼称が定着しているが、日本では一般にヘッドハンティング会社と呼ばれている」

「リーマン・ショック以降、